shindaiwa®

取扱説明書

バルーンヘッド

SMB43E
（台車用）

SMB43EP
（三脚用）

目　　次	項
１．安全上の注意	1
２．仕様	3
３．各部の名称	4
４．スタンドへの取付け方法	5
４－１．灯具ユニットの取付け	5
４－２．バルーン布の取付け	5
４－３．安定器ユニットの取付け	6
４－４．灯具カバーの取付け	7
５．点灯・消灯方法	8
５－１．点灯	9
５－２．消灯	9
５－３．再点灯	10
５－４．灯具の収納	10
６．ランプの交換方法	11
７．点検・整備	12
８．故障時の対応	13

⚠注意：安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

SMB43E
X750-019 86 1
X750808-0301

はじめに

このたびは、新ダイワのバルーンヘッドをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。

●本機の取り扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。

●本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付してください。

●取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

危険	：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。
注意	：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合、および物的損害が発生する可能性がある場合。
＜注意＞	：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

●「**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1．安 全 上 の 注 意

危険：転倒

- 三脚スタンドや台車に取付けて使用する場合は、転倒風速以下で使用してください。転倒風速については、三脚スタンドや台車の取扱説明書で確認してください。

危険：感電

- 点灯中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。また、必ずアースを接地して使用してください。
- 電子安定器から高電圧パルスが発生しています。ランプの交換や点検･整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き取ってください。また、テスター等での二次電圧の測定もしないでください。テスター故障の原因となります。

注意：けが

- ランプを必要以上の力で締め付けないでください。破損することがあります。
- 改造したり、部品をはずしたまま使用しないでください。
- 電子安定器専用ランプを必ずご使用ください。適合ランプ以外では、ランプが破損し破片が飛散することがあります。

注意：やけど

- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプやランプガードは高温になっていますので触れないでください。

注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中での使用はしないでください。また、必ずアースを接地して使用してください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。

■警告ラベル

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルに交換してください。

ラベルの注文は、( ) 内の品番で注文してください。

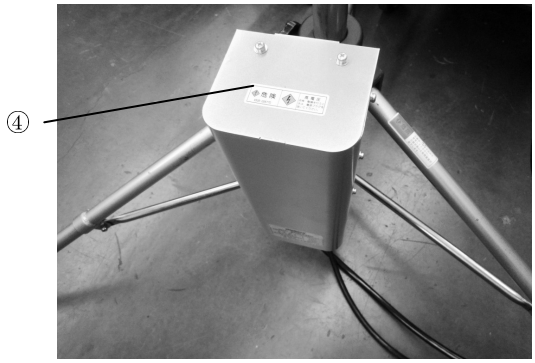
警告ラベルの品番は、ＳＭＢ４３Ｅ，ＳＭＢ４３ＥＰ共通です。

①適合ランプ（品番：X505-005570）

②危険：高電圧（品番：X505-005580）

③注意：やけど（品番：X505-005390）

④危険：高圧（品番：X505-006770）

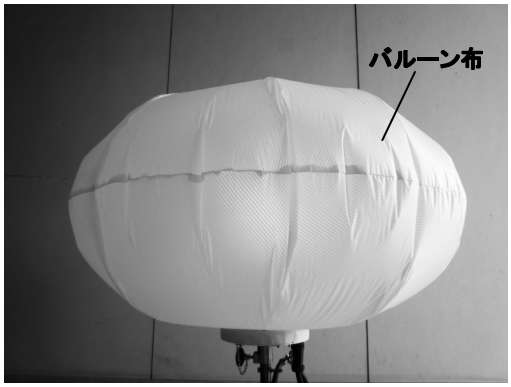


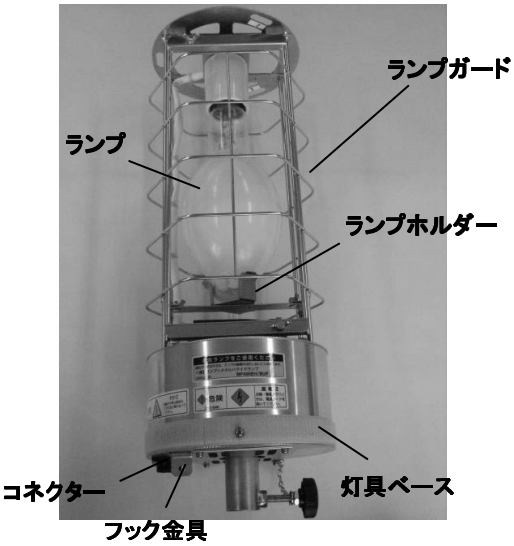
2．仕　様

モデル名			SMB43E-F/S	SMB43EP-F/S
			台車用	三脚用
定格電圧(V)			100	
定格周波数(Hz)			50／60	
定格電流(A)			4.2	
始動時電流(A)			1.1	
定格消費電力(W)			420	
適応電灯の定格消費電力(W)			400	
乾燥質量(コード類を含む)(kg)			10.5	12
灯具ユニット	バルーン布		-F：全光タイプ -S：反射タイプ	
	ランプ	種類	メタルハライド（電子安定器専用）	
		消費電力(W)	400×1	
		全光束(lm)	38,000	
	ファン	種類	直流ブロア	
		定格電圧(V)	直流 12	
		定格電流(A)	0.77	
	寸法 外形	バルーン直径 (mm)	840	
		バルーン高さ (mm)	500	
安定器ユニット			電子安定器 (50Hz/60Hz 兼用)	
			直付コード 電源：2.5m 灯具：2.5m	付属コード 電源：2.5m 灯具：2.5m

3．各 部 の 名 称

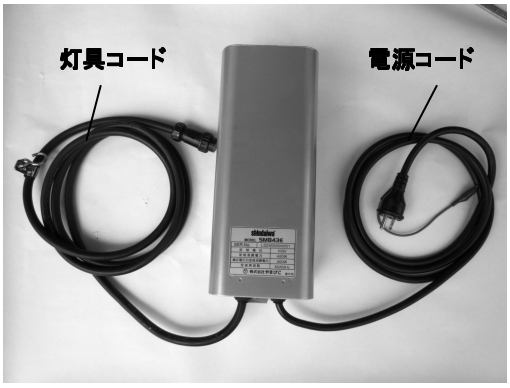
灯具ユニット（SMB43E，SMB43EP共通）



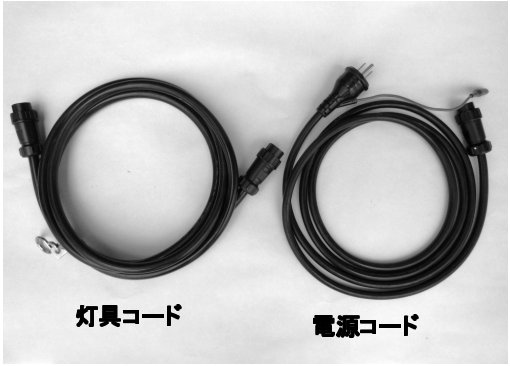


SMB43EP　安定器ユニット

SMB43E　安定器ユニット



SMB43EP用電源コード、灯具コード



灯具カバー

〈その他付属品〉

●補修用シート

4．スタンドへの取付け方法

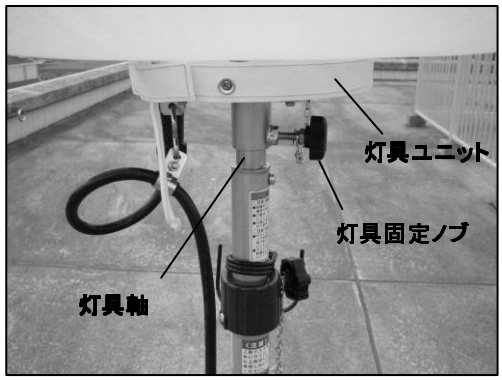
三脚スタンドや台車への取付けは、次の方法で行ってください。

＜注意＞

- ●灯具ユニットと安定器ユニットを取り付ける三脚スタンドや台車は、新ダイワのバルーン専用品をご使用ください。
- ●三脚スタンドや台車の据付けについては、三脚スタンドや台車の取扱説明書をお読みください。

４－１．灯具ユニットの取付け

1 灯具ユニットを三脚スタンドや台車の灯具軸に差し込みます。
このとき、軸側面のキリ穴と灯具固定ノブの位置を合わせてください。



2 灯具固定ノブを締め付け、固定します。
このとき、灯具固定ノブを締め切る前に、灯具ユニットを回転させて、灯具固定ノブのネジ部先端がキリ穴に入っているか、確認してください。

＜注意＞

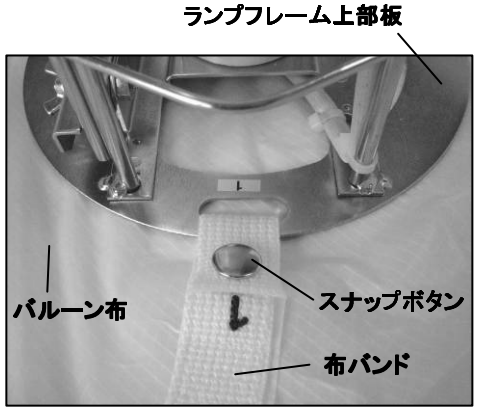
- ●固定ノブの締め付け位置がキリ穴からずれると、軸の外周を傷つけ、灯具ユニットが取り外せなくなります。

４－２．バルーン布の取付け

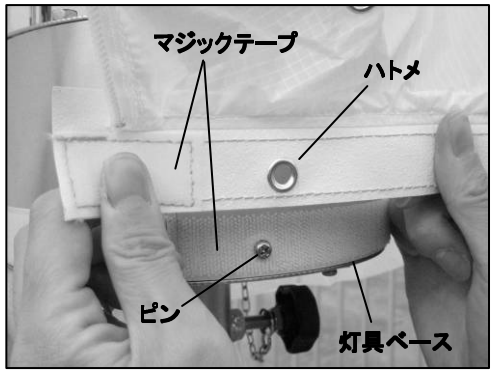
バルーン布は組み付けられておりませんので、購入時は、次の方法で取り付けてご使用ください。取り外しは逆の手順で行います。

1 バルーン布側面のファスナーを開きます。

2 バルーン布内側にある布バンド３本をランプフレーム上部板の穴に通し、スナップボタンで取り付けます。
このとき、布バンドと上部板に付いている番号を一致させてください。



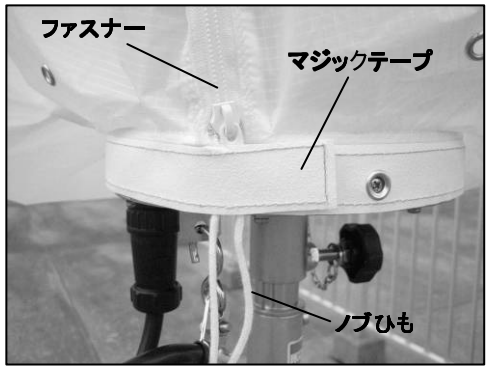
3 バルーン布をランプガードに被せて、バルーン布下部と灯具ベースのマジックテープを貼り合せます。
このとき、バルーン布のマジックテープ端にあるハトメと灯具側マジックテープにあるピン（ネジの頭）を合せて、位置決めをしてください。



4 バルーン側面のファスナーを閉じます。
このとき、マジックテープの端を少し剥がして、ファスナーノブひもを挟み、再び貼り付けます。

＜注意＞

- 強風によりファスナーが開くことがありますので、必ずノブひもをマジックテープで挟んでください。



４－３．安定器ユニットの取付け

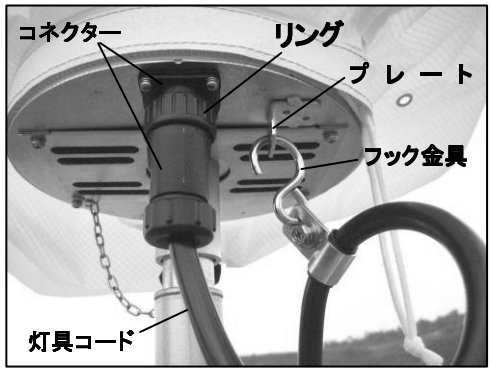
台車用ＳＭＢ４３Ｅの場合

1 安定器ユニットを付属のボルトとナットで安定器ユニットの上下２箇所をコードが下になるようにして台車に取り付けます。

2 安定器ユニットから出ているコネクター付の灯具コードを灯具ユニットのコネクターに接続します。
コネクターは、お互いのはめ合い位置を合わせて差し込み、リングを右に回して固定します。

3 灯具コードのフック金具を灯具ユニット下部のプレートの穴に引っ掛けます。

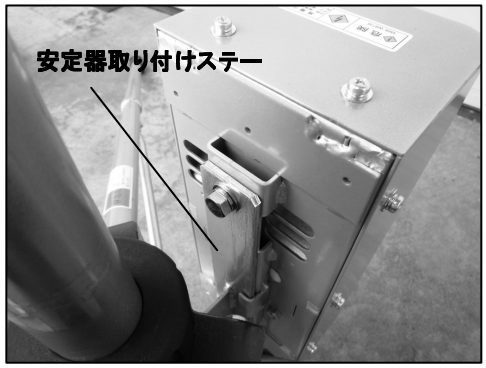
4 電源コードを発電機に接続します。



三脚用ＳＭＢ４３ＥＰの場合

1 三脚スタンドを設置します。

2 安定器ユニットのコードコネクターを下にして縦向きに持ち、安定器ユニット背面の取り付け穴をマスト下部にある安定器取り付けステーの穴に合わせ、付属のボルトとナットで固定します。



3 付属の灯具コードで安定器ユニットと灯具ユニットを接続します。
コネクターは、お互いのはめ合い位置を合わせて差し込み、リングを右に回してネジ込んでください。灯具コードのフック金具を灯具ユニット下部のプレートの穴に引っ掛けます。

4 安定器ユニットに付属の電源コードをコネクターで接続します。
コネクターは、お互いのはめ合い位置を合わせて差し込み、リングを右に回してネジ込んでください。

４－４．灯具カバーの取付け

バルーン布を汚したり、傷付けたりしないよう灯具カバーを取り付けます。
灯具カバーは、灯具ユニットを三脚スタンドや台車に取り付けた状態で行ってください。

1 バルーン布をランプガードに巻き付けます。

2 灯具カバーの側面のファスナーを開けます。

3 灯具の横から灯具カバーを被せ、ファスナーを閉めます。

＜注意＞

●ファスナーを閉めるとき、バルーン布を挟まないよう注意してください。

4 灯具を三脚スタンドや台車から降ろしたら、灯具カバー口元をコードストッパーで絞り、ひもを結びます。

５．点 灯・消 灯 方 法

危険：転倒

- 三脚スタンドや台車に取付けて使用する場合は、転倒風速以下で使用してください。転倒風速については、各種スタンドや台車の取扱説明書で確認してください。

危険：感電

- 点灯中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。また、必ずアースを接地して使用してください。
- 電子安定器から高電圧パルスが発生しています。ランプの交換や点検･整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き取ってください。また、テスター等での二次電圧の測定もしないでください。テスター故障の原因となります。

注意：けが

- ランプを必要以上の力で締め付けないでください。破損することがあります。
- 改造したり、部品をはずしたまま使用しないでください。

注意：やけど

- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプやランプガードが高温になっていますので触れないでください。

注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中での使用はしないでください。また、必ずアースを接地して使用してください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。

＜注意＞

- 発電機を電源にするときは、出力０．４５ｋＶＡ以上のものを使用してください。
- ランプが劣化し点灯しない場合、電源プラグをコンセントに差し込んで約３０分後に電子安定器が出力を遮断します。このときは、電源プラグをコンセントから抜いて電子安定器をリセットしてください。電源プラグをコンセントに差したままランプを交換しても点灯しません。
- 電子安定器に温度異常が発生した場合、電子安定器内部の温度センサーが作動し出力を遮断します。
- 三脚スタンドや台車の据付けは、三脚スタンドや台車の取扱説明書に従って、確実に行ってください。

５－１．点灯

1 灯具ユニット・電源コードなどの取付けを行います。（『４．スタンドへの取付け方法』の項を参照）

2 灯具カバーを取り外します。

3 始業前点検を行います。（『７．点検・整備』の項を参照）

4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

＜注意＞

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、ファンが回転してバルーン布が膨らみ、ランプが点灯します。
- ランプの点灯が完全に安定するまで５分程度かかります。

5 三脚スタンドや台車の上部マストを一杯まで引き上げ、マストを確実に固定します。

6 落下防止ピンを下部マストの穴に差し込みます。

＜注意＞

- 風でバルーン布がつぶれるような状態のときは、マストを下げて使用してください。また、下げてもバルーン布がつぶれるようであれば、使用を中止してください。

５－２．消灯

1 三脚スタンドや台車のマストを下げて、灯具ユニットを最低位置まで下ろします。

2 コンセントからプラグを抜いてランプを消灯させます。

3 バルーン布のファスナーを開けて、５分程度バルーン内部の冷却を行います。

＜注意＞

- すぐに、バルーン布を束ねると、ランプの熱でバルーン布が劣化します。

５－３．再点灯

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

＜注意＞

- ランプが熱い間は、すぐには点灯しません。電源接続後、３～５分で再点灯します。

2 三脚スタンドや台車の上部マストを一杯まで引き上げ、マストを確実に固定します。

3 落下防止ピンを下部マストの穴に差し込みます。

５－４．灯具の収納

1 灯具ユニットから灯具コードを取り外します。

2 バルーン布をランプガードに巻き付けます。

3 灯具カバーを掛けます。(『４－４．灯具カバーの取付け』の項を参照)

＜注意＞

- 三脚スタンドや台車に取り付けたまま一時保管するときも、カバーを掛けてください。灯具カバーをかけないと風による擦れや紫外線による劣化で、バルーン布の寿命が低下します。

4 ノブネジ先端が灯具軸のキリ穴から外れるまで、灯具固定ノブをゆるめ、灯具ユニットを三脚スタンドや台車から降ろします。

5 三脚用ＳＭＢ４３ＥＰは、電源コードと灯具コードを安定器ユニットから取り外し、まとめて灯具カバーの中に収納します。

6．ランプの交換方法

危険：感電

- ランプ交換を行うときは、必ず電源プラグを抜き取ってください。

注意：けが

- ランプを必要以上の力で締め付けないでください。破損することがあります。
- 電子安定器専用ランプを必ずご使用ください。適合ランプ以外では、ランプが破損し破片が飛散することがあります。

注意：やけど

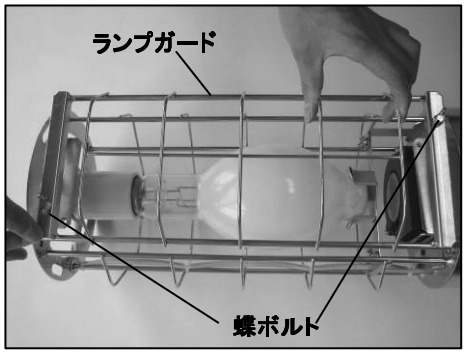
- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプやランプガードは高温になっていますので触れないでください。

＜注意＞

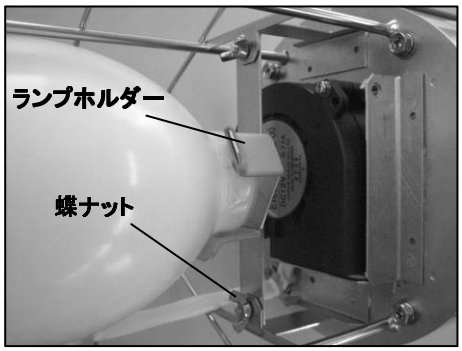
- ランプは、岩崎電気製４００W 電子安定器専用メタルハライドランプ『MF４００EH／BUP』を使用してください。

1 バルーン布を取り外します。

2 ランプガードを固定している蝶ボルト２本を緩め、ランプガードを取り外します。

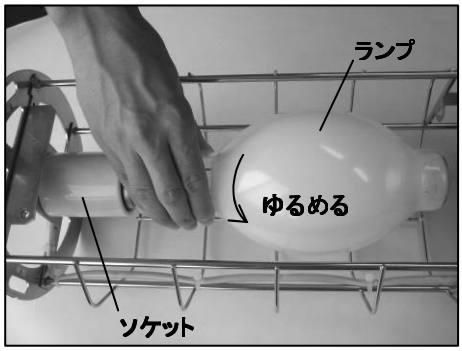


3 ランプホルダー両端の蝶ナット２ヶを緩め、ランプホルダーを取り外します。



4 ランプガードの中に手を入れ、ランプの根元を持ってゆるめます。

5 ランプがゆるんだら、ソケットから抜き取ります。



6 ランプの取付けは逆の手順で行います。

7．点 検・整 備

危険：感電

●点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを抜き取ってください。

注意：やけど

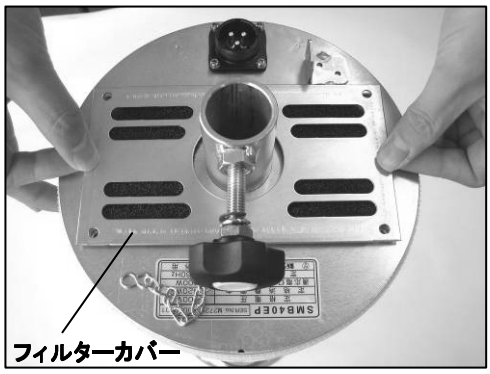
●ランプ点灯時や消灯直後は、ランプやランプガードは高温になっていますので触れないでください。

点検箇所	点検内容	始業前	100時間ごと	処置
バルーン布	破れ	○		補修、交換
	汚れ	○		ふき取り、交換
ランプ	ゆるみ	○		増し締め
ファン	異音（運転確認）	○		交換
フィルター	目詰まり		○	揉み洗い

（1）フィルターの洗浄

1 フィルターカバー固定のネジ４本を緩め、フィルターカバーを外します。

2 フィルターは半割りになっていますので横に取り出し、水の中で軽く揉み洗いします。



3 フィルターの取付は逆の手順で行います。

（2）バルーン布の汚れ落とし

中性洗剤をつけた布で、汚れをふきとってください。

＜注意＞

●アルコール、ガソリンなどの溶剤は使用しないでください。

●生地のコーティングを傷めますので、揉み洗いや洗濯機洗いは行わないでください。

（3）バルーン布の補修

補修用シート（裏面接着式）は、補修箇所のほこりや油分をきれいに落とし、バルーン布の表側からしっかり押さえて貼り付けてください。

8. 故 障 時 の 対 応

危険：感電

- 点灯中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。また、必ずアースを接地して使用してください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを抜き取ってください。

⚠ 注意：やけど

- ランプ点灯時や消灯直後は、ランプやランプガードは高温になっていますので触れないでください。

本機の調子が悪い時は、次の表に従って点検してください。点検しても正常にならないときは、お求めの販売店か弊社営業所に修理を申しつけてください。

症 状	推 定 原 因	処 置
ランプが点灯しない	消灯後すぐに再点灯させた（再点灯には３～５分かかる）	ランプが冷えてから再点灯させる
	ランプが電子安定器に適合していない	適合ランプに交換する
	ランプがゆるんでいる	ランプを確実に締め込む
	ランプの寿命劣化	ランプを交換する
	ランプ交換時に電源プラグをコンセントから抜いていない	電源プラグをコンセントから抜いて、再びコンセントに差し込む
	電子安定器の故障	修理
ランプが暗い	ランプの寿命劣化	ランプを交換する
	バルーン布が汚れている	汚れを拭き取る(揉み洗いは不可) バルーン布を交換する
ランプが立ち消えする	ランプの寿命劣化	ランプを交換する
	フィルターの目詰まりによる温度異常	フィルターを清掃する
バルーン布が膨らまない	バルーン布に大きな穴があいている	バルーン布を交換する
	ファンが回っていない	修理
	バルーン布が濡れている	バルーン布を乾かして使用する
バルーン布の膨らみが弱い	ファスナーが開いている	ファスナーを閉じる
	マジックテープが剥がれている	マジックテープを貼り直す
	フィルターの目詰まり	フィルターを清掃する
	バルーン布に小さい穴があいている	補修
	バルーン布の寿命劣化	バルーン布を交換する

MEMO

MEMO

MEMO

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島市安佐南区大塚西6-2-11　　Tel 082-849-2005（代）

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

(C) 2011 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。